



梅 の 実

6月11日は入梅，梅雨になつて梅の実の熟する頃である。熟実（うみみ）が「ウメ」になつたとは新井白石の説，烏梅（ウメイ又はウバイ）といつて，もとは燻製の黒いのを薬にしたのからウメという説などなど。

梅は，果樹としては東アジアにかざられ，世界的発達をみない核果類果樹である。

昭和33年の統計によると，全国のうめの推定実収高は 33,000トンで，和歌山が 4,150トンで第1位，茨城，千葉が共に1,600トンで2位を分けている。

梅の名所としての紀州の南部（みなべ）は，田辺市の北西，南部川ぞいの丘陵に十数万本の梅があり，ここの梅の実の生産が全国一というわけである。統計表によると全国の推定実収高は昭和28年47,970トン，29年40,991トン，30年52,530トン，31年39,733トン，32年48,318トン，33年33,000トンと一年おきに生産が減少している。